



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社イチケン
コード番号 1847 URL http://www.ichiken.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 博之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 小谷 実弦 TEL 03-5931-5642
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	78,157	—	5,373	—	5,329	—	3,582	—
2024年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,677百万円 (—%) 2024年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	493.57	491.80
2024年3月期第3四半期	—	—

(注) 当連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であるため、2024年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	66,805	32,912	49.2
2024年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 32,889百万円 2024年3月期 一百万円

(注) 当連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であるため、2024年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	45.00	—	65.00	110.00
2025年3月期	—	50.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	90.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2025年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 80円00銭 記念配当 10円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	—	5,800	—	5,700	—	3,900	—	537.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

当連結会計年度は連結決算短信の作成初年度であるため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名)片岡工業株式会社、 除外 1社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	7,284,400株	2024年3月期	7,284,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	25,514株	2024年3月期	25,231株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	7,259,008株	2024年3月期3Q	7,259,333株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計上の見積りの変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. 個別受注高・売上高・次期繰越高の状況	8
(1) 受注高	8
(2) 売上高	8
(3) 次期繰越高	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くものの、米国新政権の経済政策動向や中東情勢を中心とする地政学リスクに加えて、物価上昇、金融資本市場の変動等による国内景気への影響など、依然として不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、政府建設投資は堅調に推移しており、民間設備投資については、インターネット販売の拡大を背景とした倉庫スペースの拡張や物流施設の増強等、持ち直しの動きがみられるものの、慢性的な労働力不足や資材価格の高騰など、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、従前から培ってきたコア事業である「商業施設」建築のノウハウや企画・提案力を生かし、店舗等の新築・内装・リニューアル工事の建設需要に対して積極的な受注活動を行ってまいりました。さらに、商業施設を運営する事業者からの要請による大型物流施設の受注による増加等もあり、2025年3月期の業績は順調に推移しております。

また、2024年4月1日から適用されました時間外労働の上限規制への対応につきましては、労働時間の可視化による意識改善やDX推進プロジェクトを中心に、ITを活用した業務効率化により、時間外労働の削減に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は781億5千7百万円となりました。

損益につきましては、営業利益は53億7千3百万円、経常利益は53億2千9百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は35億8千2百万円となりました。

セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

(建設事業)

完成工事高は779億7千7百万円、セグメント利益は68億4千6百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業売上高は1億7千9百万円、セグメント利益は5千2百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間における財政状態は、資産合計が668億5百万円となりました。

流動資産は615億9百万円となり、主に現金預金が153億9千9百万円、受取手形・完成工事未収入金等が309億7千4百万円、電子記録債権が43億5千6百万円、販売用不動産が53億8千2百万円、仕掛販売用不動産が21億4千6百万円となりました。

固定資産は52億9千5百万円となり、主にのれんが11億1千5百万円、投資その他の資産(その他)が37億1千7百万円となりました。

負債合計については338億9千2百万円となりました。

流動負債は283億5千2百万円となり、主に支払手形・工事未払金が105億5千2百万円、電子記録債務が92億7百万円、短期借入金が38億2千万円、未払法人税等が11億2千5百万円、未成工事受入金が27億6千万円となりました。

固定負債は55億4千万円となり、主に長期借入金35億円、退職給付に係る負債が16億円となりました。

純資産合計は329億1千2百万円となり、主に資本金が43億2千9百万円、利益剰余金が275億5千5百万円となりました。

この結果、自己資本比率は49.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2024年10月31日に公表いたしました業績予想並びに配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2025年3月期通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金預金	15,399
受取手形・完成工事未収入金等	30,974
電子記録債権	4,356
販売用不動産	5,382
仕掛販売用不動産	2,146
未成工事支出金	1,873
その他	1,380
貸倒引当金	△3
流動資産合計	61,509
固定資産	
有形固定資産	303
無形固定資産	
のれん	1,115
その他	158
無形固定資産合計	1,274
投資その他の資産	
その他	3,717
投資その他の資産合計	3,717
固定資産合計	5,295
資産合計	66,805

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間
(2024年12月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形・工事未払金	10,552
電子記録債務	9,207
短期借入金	3,820
未払法人税等	1,125
未成工事受入金	2,760
完成工事補償引当金	122
工事損失引当金	0
賞与引当金	130
その他	633
流動負債合計	28,352
固定負債	
長期借入金	3,500
退職給付に係る負債	1,600
役員退職慰労引当金	200
その他	239
固定負債合計	5,540
負債合計	33,892
純資産の部	
株主資本	
資本金	4,329
資本剰余金	214
利益剰余金	27,555
自己株式	△28
株主資本合計	32,071
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	823
退職給付に係る調整累計額	△4
その他の包括利益累計額合計	818
新株予約権	22
純資産合計	32,912
負債純資産合計	66,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	78,157
売上原価	70,172
売上総利益	7,984
販売費及び一般管理費	2,611
営業利益	5,373
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	39
還付加算金	1
受取保険金	7
その他	13
営業外収益合計	62
営業外費用	
支払利息	77
支払手数料	28
その他	0
営業外費用合計	106
経常利益	5,329
特別利益	
固定資産売却益	5
特別利益合計	5
税金等調整前四半期純利益	5,334
法人税、住民税及び事業税	1,541
法人税等調整額	210
法人税等合計	1,752
四半期純利益	3,582
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,582

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,582
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	89
退職給付に係る調整額	5
その他の包括利益合計	95
四半期包括利益	3,677
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,677

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(耐用年数の見積りの変更)

当社は2024年12月26日付開催の取締役会において、本社移転に関する決議をいたしました。これに伴い、移転後利用見込みのない固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

この見積りの変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ36百万円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設事業	不動産事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	77,977	179	78,157	—	78,157
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	77,977	179	78,157	—	78,157
セグメント利益	6,846	52	6,899	△1,525	5,373

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,525百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	
減価償却費	131百万円
のれんの償却額	35

3. 個別受注高・売上高・次期繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円)

項 目		前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		(参考) 前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
建 設 事 業	建 築	官公庁	320	0.4%	171	0.2%	331	0.3%
		民間	76,655	99.5	75,501	99.7	97,794	99.7
		計	76,975	99.9	75,672	99.9	98,125	100.0
	土 木	官公庁	—	—	—	—	—	—
		民間	38	0.1	91	0.1	38	0.0
		計	38	0.1	91	0.1	38	0.0
業 計	官公庁	320	0.4	171	0.2	331	0.3	
	民間	76,694	99.6	75,592	99.8	97,833	99.7	
	計	77,014	100.0	75,763	100.0	98,164	100.0	

(2) 売上高

(単位：百万円)

項 目		前第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		(参考) 前事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
建 設 事 業	建 築	官公庁	949	1.3%	298	0.4%	1,014	1.1%
		民間	68,491	94.5	76,847	99.3	92,243	95.7
		計	69,440	95.8	77,145	99.7	93,258	96.8
	土 木	官公庁	—	—	—	—	—	—
		民間	4	0.0	38	0.1	5	0.0
		計	4	0.0	38	0.1	5	0.0
業 計	官公庁	949	1.3	298	0.4	1,014	1.1	
	民間	68,495	94.5	76,885	99.4	92,249	95.7	
	計	69,444	95.8	77,184	99.8	93,264	96.8	
不動産事業		3,050	4.2	179	0.2	3,109	3.2	
合 計		72,494	100.0	77,363	100.0	96,373	100.0	

(3) 次期繰越高

(単位：百万円)

項 目		前第3四半期累計期間 (2023年12月31日)		当第3四半期累計期間 (2024年12月31日)		(参考) 前事業年度 (2024年3月31日)		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
建 設 事 業	建 築	官公庁	351	0.4%	169	0.2%	297	0.4%
		民間	83,697	99.5	79,738	99.7	81,083	99.5
		計	84,048	99.9	79,908	99.9	81,381	99.9
	土 木	官公庁	—	—	—	—	—	—
		民間	45	0.1	96	0.1	44	0.1
		計	45	0.1	96	0.1	44	0.1
業 計	官公庁	351	0.4	169	0.2	297	0.4	
	民間	83,743	99.6	79,835	99.8	81,128	99.6	
	計	84,094	100.0	80,005	100.0	81,425	100.0	